

委 17-2-1

宇宙開発の現状報告

(平成 18 年 5 月 10 日～平成 18 年 5 月 16 日)

平成 18 年 5 月 17 日
宇宙開発委員会事務局

・ ESA と ASI 第 2 回宇宙探査のための国際協力ワークショップを開催 【欧、他】

5 月 9 日～12 日 (現地時間)、イタリア・シエナにて、欧州宇宙機関 (ESA) 及びイタリア宇宙機関 (ASI) 主催の宇宙探査ワークショップが開催され、我が国を含む 8 宇宙機関及び 1 カ国の他、大学教授等の有識者ら合計 62 名が参加し、宇宙探査計画における国際協力のあり方と枠組み等について議論が行われた。

宇宙開発に関する海外の動向

5 月 10 日 (水)

・ NASA と ISRO、月探査ミッション搭載機器で了解覚書を締結 【米・印】

5 月 9 日 (現地時間)、米国航空宇宙局 (NASA) 長官と、インド宇宙研究機関 (ISRO) 総裁は、ISRO 衛星センター (インド・バンガロール) において、インド月探査ミッション「Chandrayaan-1」への米国の搭載機器に関する了解覚書に署名した。搭載されるのは、月の極域で氷の堆積物を探索する「Mini-SAR (小型合成開口レーダ)」と月面の鉱物資源の詳細なマッピングを行う「Moon Mineralogy Mapper」。

「Chandrayaan-1」は、2007 年後半から 2008 年前半に打上げ予定であり、月の元素や鉱物資源のマッピング、高精度での月面の 3 次元画像の取得、重力モデルの構築等を目的としている。

5 月 13 日 (土)